豊かなふるさと南あわじ

マイプライベートタイム

南あわじ市長（兵庫県）　守本憲弘（もりもとかずひろ）

豊かな自然と歴史文化、温かい絆あふれる南あわじ市

南あわじ市は、淡路島南部に位置する兵庫県最南端の市であり、渦潮で有名な鳴門海峡を眼下に望む大鳴門橋で徳島県鳴門市ともつながっています。南は太平洋につながる紀伊水道、北は瀬戸内海と周囲を海に囲まれ、四季を通じて温暖な気候です。豊かな自然環境の中、全国的に有名な淡路島たまねぎをはじめ、タイ、ハモ、とらふぐ、淡路ビーフ、淡路島牛乳など豊富な食材に恵まれた地域です。

自転車道が整備される大鳴門橋と渦潮

私は、高校卒業とともに上京して36年間、盆暮れに帰省はしていたものの、多くの時間を東京で過ごしてきました。市長として地元に帰って暮らし始めると、山海の豊富な食材が身近にあり、穏やかな時間の流れや、季節によって移ろう田園風景を目にする日々は、東京で生活をしていた時と比べて、生活の質が格段に向上したと実感をしています。

小屋に吊るされた淡路島たまねぎと水稲の風景

加えて、本市は、５００年以上の歴史を持つ国指定重要無形民俗文化財の淡路人形浄瑠璃発祥の地でもあり、春祭りでは各地区の祭礼団によって、浄瑠璃の見せ場がだんじり唄として披露されます。阿万風流踊りもユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、伝統文化が地域で裾野広く引き継がれており、生きた歴史を体現するまちでもあります。

普段、地元の人たちと話をすると、地域への愛着や、人と人とのつながりの強さがひしひしと伝わってきます。移住者の皆さまからも、住民の温かさが、本市を選んだ決め手だったとよく聞きます。この住民同士の絆が、豊かな自然や食材とともに自慢できる本市の大きな自慢の一つです。

スポーツや音楽で育まれる地域力

さて、多くの地方と同じように、車での移動がほとんどで、都会で暮らしていた時ほど歩くことも少なくなりました。そのため、本市で過ごす日常の中、健康維持やリフレッシュも兼ねて、時間があれば、できるだけ体を動かすように心がけています。

中学生の時から始めたテニスは現在も続けており、市内のテニスコートで仲間と汗を流しています。金曜日の夜は、市民向けテニス教室のコーチ役です。また、毎年、市の開催するランニングフェスティバルでも子どもに追い抜かれつつ、市民の皆さまと一緒に走ったり、ワールドマスターズゲームズ２０２７のビーチバレーボール会場にも選ばれている慶野松原海水浴場で毎年開催されるビーチバレーボール大会のエキシビションに出場したりもしています。スポーツを通じた交流によっ

て、多くの人たちとコミュニケーションできるのも楽しみの一つです。

現在、プロ野球の阪神タイガースで活躍している村上頌樹投手やプロバスケットボールB1リーグの佐賀バルーナーズに加入した富山仁貴選手のほか、淡路島は昔からスポーツが盛んな土地柄で、多くのアスリートが本市から生まれています。

また、ウクレレも趣味の一つとしてプロフィールに書かせてもらっています。市長就任後に職員に誘われて、サークルに参加したのですが、私がウクレレを弾いているということを聞いた市民から、地域のイベントに出演の依頼が来ることもあります。今では毎週木曜日の始業前に、手話を練習する職員と一緒に、歌に合わせて練習をしています。

筆者も毎年参加するランニングフェスティバル

コロナ禍の時期、作詞や作曲もやってみました。当時、全国的な感染拡大によって、不安にかられ、他者を責めるといったことが世の中で問題となっていました。テレビで、タイの航空会社が子ども向けの振り付け付きの感染予防啓発ソングを作ったというニュースを見て、南あわじオリジナル啓発ソング「コロナに負けるな」を作成し、地域おこし協力隊の歌と職員の手話とともに動画に収録して、正しい予防や思いやりをもった行動をとっていただけるようにと、YouTubeやSNS、ケーブルテレビなどで流しました。世界的なマリンバ奏者の三村奈々恵さんに共感いただいて参加してもらったことは、とても印象に残っています。

新たな観光の創出

最近では、淡路島は海岸沿いに次々とレジャースポットが誕生し、さまざまなメディアで取り上げられ、多くの観光客がお越しになっています。

淡路島の沿岸道路約150kmを一周する「アワイチ」がサイクリストに大変人気で、週末や連休には多くのサイクリストが、淡路島の海岸線を駆け抜けています。

現在、鳴門海峡にかかる大鳴門橋の桁下空間に自転車道の整備が進んでいます。令和10年、これが完成すると、しまなみ海道はじめ、四国や中国地方のコースともつながり、瀬戸内海広域サイクリングコース「セトイチ」が出来上がります。新たな観光コンテンツとして大きな期待をもっています。

イベントで職員とウクレレを演奏する筆者

淡路島は、関東の方からは遠い場所だと思われているかもしれませんが、徳島空港から本市への連絡バスも整えており、羽田空港から2時間で本市へアクセスすることができます。私も東京への出張の際には、よくこの連絡バスを利用しており、本当に便利です。現在は、大阪・関西万博が開催されており、関西がにぎわっていますが、これを機にぜひ多くの方々に、南あわじ市へもお越しいただけるようお待ちしております。